

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「私たちの命」

富山市立新庄北小学校

平成23年11月10日実施

【いのちの先生】

古西 和絵先生

・内藤内科クリニック看護師

【授業の概要】

1 命の誕生

- ・舟橋図書館へのカモシカの侵入に対する人々の動きから、どんな生きものにも大切な命があることを知る。
- ・受精卵の成長や体内での様子の画像を見て、一人一人が大切に育てられた命であることを知る。また、親が子どもの命をいかに大切に思っているかについての話を聞く。

2 命は時間

- ・日野原重明氏の指導場面の絵本の読み聞かせから、「命は時間」であり限りがあること、命を大切に生きることを学ぶ。

〇〇へ

あなたが、お腹の中にいる時、小さなたまごで、そのたまごの中で小さな心臓がピコピコ動いているのを、病院の先生に見せてもらいました。自分の体の中に、二つも心臓があるなんて、不思議な感じがしたよ。はじめは、1ミリにもならない小さなたまごだったのに、今では、手も足も背ものびて、もう少ししたら、お母さんと同じ大きさになるのかな？

命は、すごいなと思いました。お母さんのおなかの中から死ぬまで、心臓が一回も休まず、私たちのために動いてくれるからです。

命が時間だと言うのは、その通りだと思います。自分も人のために自分の時間や命を使えるようになりたいです。

お母さんへ

私は、いのちの授業で、いろんなことを学びました。私が、お母さんのおなかの中に入ったときは、たまごだって知ったことが、一番びっくりしたよ。お母さんも、小さいときには、ばあちゃんのおなかの中で、たまごだったの知っていた？

年をとっているほうが、心臓の動きが、おそいんだって。だから、お母さんより、私のほうが、しんぞうの動きがはやいってことなんだよ。

赤ちゃんは、卵からできていたり、おなかの中にいる時から歯の準備をしていたりすることを聞いてびっくりしました。

私は、お母さんやお父さんのおかげで、今、生きているんだとわかりました。